

全国大学保健管理協会(JUHA)
ウェブ情報委員会 活動報告書
(2023年5月18日)

委員長 原田賢治(東京農工大学)

I. 委員会名簿

役職	所属	氏名
委員長	東京農工大学保健管理センター	原田 賢治
委員	徳島大学キャンパスライフ健康支援センター	井崎 ゆみ子
委員	青山学院大学保健管理センター	稲垣 中
委員	関西学院保健館	清水 幸登
委員	京都大学健康管理部附属健康科学センター	中神 由香子
委員	東京工業大学保健管理センター	安宅 勝弘
委員	千葉大学総合安全衛生管理機構	吉田 智子

II. 活動報告(2022年度 + 2023年度5月まで)

- 協会のウェブサイトに関連した活動(学会事務局ならびに株式会社メディアインパクトと協力して実施)
 - 協会のウェブサイトについて、情報の更新をおこないやすいように全体の構成の見直しをおこない、掲載情報としてPDFを活用、細かな規程や記録を会員専用ページに移動、電子メール双方向配信システムとのリンクの明示、事務局へのアクセス情報の掲示、使われていないページの削除、等をおこなった(2022年6月～8月)。
 - 「機関誌」と「会員専用ページ」の欄に、機関誌編集委員会で発行されたCAMPUS HEALTH 59(1)、59(2)、60(1)の目次の記載と内容のPDFのダウンロードリンクを作成し掲載した(2022年4月、7月、2023年3月)。
 - 北海道地方部会と中国四国地方部会では以前から地方部会のホームページ(ウェブサイト)を活用されていたが、それ以外の地方部会では個別のウェブサイトがなかったので、東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・九州地方部会についてのウェブサイトを作成し、協会のウェブサイトとの相互リンクをつけた(2022年12月)。
 - 全国大学保健管理研究集会、地方部会の活動の記載内容、各種委員会活動などについて、随時更新・改訂をおこなった。
- 協会の連絡網に関連した活動(学会事務局ならびに株式会社メディアインパクトと協力して実施)
 - 電子メール双方向配信システムの運用方針や研究に利用する条件等についての原案を作成し、理事会での検討をお願いして(2022年12月、2023年2月)、運用規則と運用細則を定めた。
- その他、コミュニケーションや情報提供・情報交換等に関連した活動
 - ウェブを利用して講義や講演などの自己学習・eラーニング教材をオンデマンドで閲覧(学習)できる環境を会員に提供することについて、担当業者と相談をおこない、「電子メール双方向配信システムのページを改訂してオンライン学習のページをつくり、動画ファイル本体はYouTubeに非公開で掲載してそのファイルへのリンクを掲載する」、ということは可能であるとの回答を得た(2022年6月)。
これに基づき、教材として看護職初任者講習会の動画を配信することについて保健看護委員会の吉田委員長・砂川副委員長と相談をおこない、経過を理事会で報告した(2023年2月)。

III. 活動計画案(長期的なものを含む)

- 協会のウェブサイトに関連した活動
 - 各地方部会のウェブサイトのとりまとめ担当の方を、ウェブ情報委員会の委員として選出して頂きたい(2023年度中)。
 - 地方部会のウェブサイトの情報を充実したい(地方部会研究集会の抄録集等活動情報の掲載など)。
 - 各大学がよく使う・役に立つウェブサイトの情報を調査して、その結果を掲載したい。
 - 会員専用ページのパスワードやメール配信システムのパスワードの伝達や管理について整理したい。

- 協会の連絡網に関連した活動
 - 電子メール双方向配信システムへの全大学の登録を実施したい(2023年度中)。
 - 送信先の条件として、各大学の連絡担当者を選ぶことができるようにしたい(2023年度中)。
 - 配信システム利用者登録情報を、全大学への一斉メールの情報(事務局で管理)と統合したい。
 - 配信システムを使いやすくするために、メニュー構成等を見直したい。

- その他、コミュニケーションや情報提供・情報交換等に関連した活動
 - 動画教材の配信に向けて、担当業者にウェブ作成についての依頼をおこない、運用できる状態としたい(2023年度中)。
また、教材作成について保健看護委員会と相談をおこない、看護職初任者講習会の動画を配信できるようにしたい(2023年度中)。
 - 電子診療記録システム(電子カルテ)について、記録項目や形式などの状況調査をおこないたい。
 - 健康診断や診療記録のデータを、卒業後も学生本人が活用できるようにしたい。